

Window11 24H2 更新後、共有フォルダにアクセスできない

内容と原因

Windows11のアップデートで24H2に更新をすると、PCのセキュリティが強化され、一部の環境下で共有フォルダのアクセスが出来なくなる事があります。

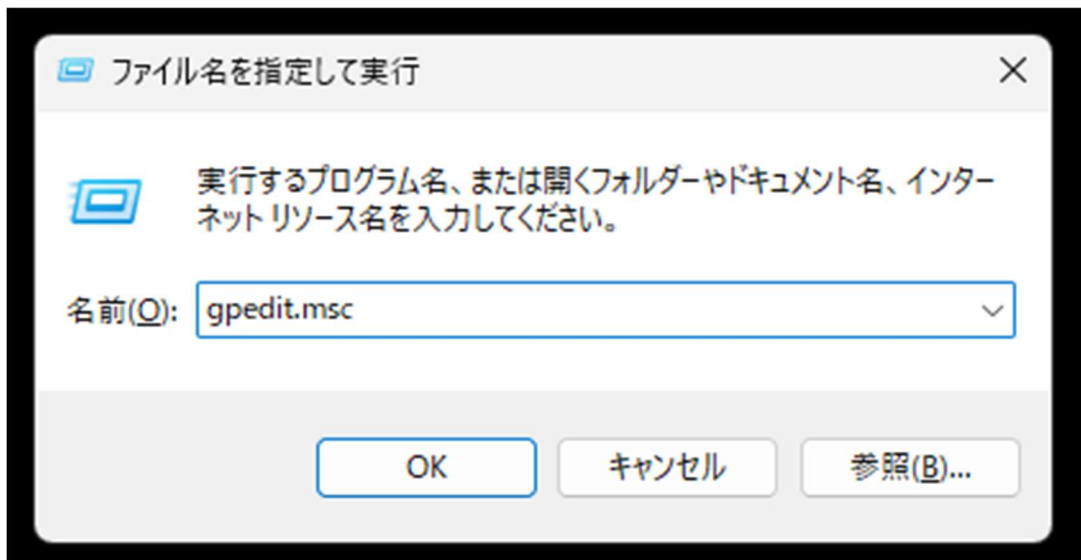
組織のセキュリティ ポリシーによって非認証のゲスト アクセスがブロックされているため、この共有フォルダーにアクセスできません。これらのポリシーは、ネットワーク上の安全でないデバイスや悪意のあるデバイスから PC を保護するのに役立ちます。

Windows11のアップデートの影響で既定のセキュリティが強化されたため、接続先との認証（ゲストアクセス）が制限されています。

接続をする為には、更新で変更になった部分を元に戻す必要があります。

変更方法

1. スタートボタンを右クリックをして（ファイル名を指定して実行）をOKを選択します。
※キーボードの[Windows]キーを押しながら[R]キーを押しても代用できます。



2. ファイル名を指定して実行の画面が表示されますので、（gpedit.msc）と入力し（OK）を選択します。

3. （ローカル グループポリシー エディター）画面が表示されますので、該当の項目を2か所変更します。

1か所目

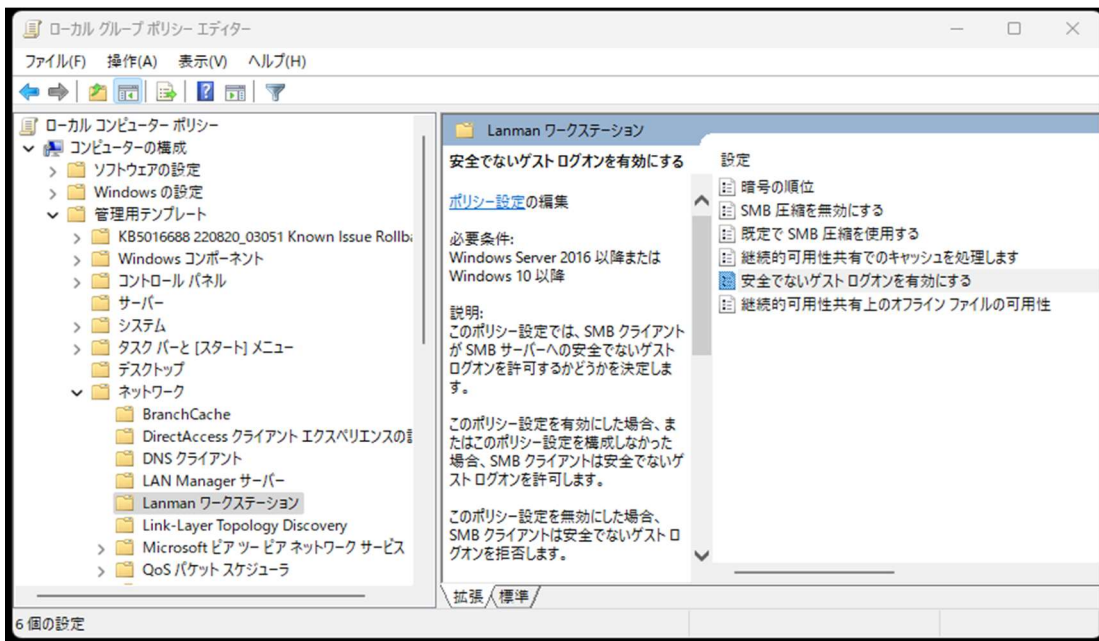
（コンピューターの構成）

（管理用テンプレート）

（ネットワーク）

（Lanmanワークステーション）

右側のリストから（安全でないゲスト ログオンを有効にする）を選択して、展開します。



(有効) をチェックし、(OK) を押します。



2か所目

(コンピューターの構成)

(Windowsの設定)

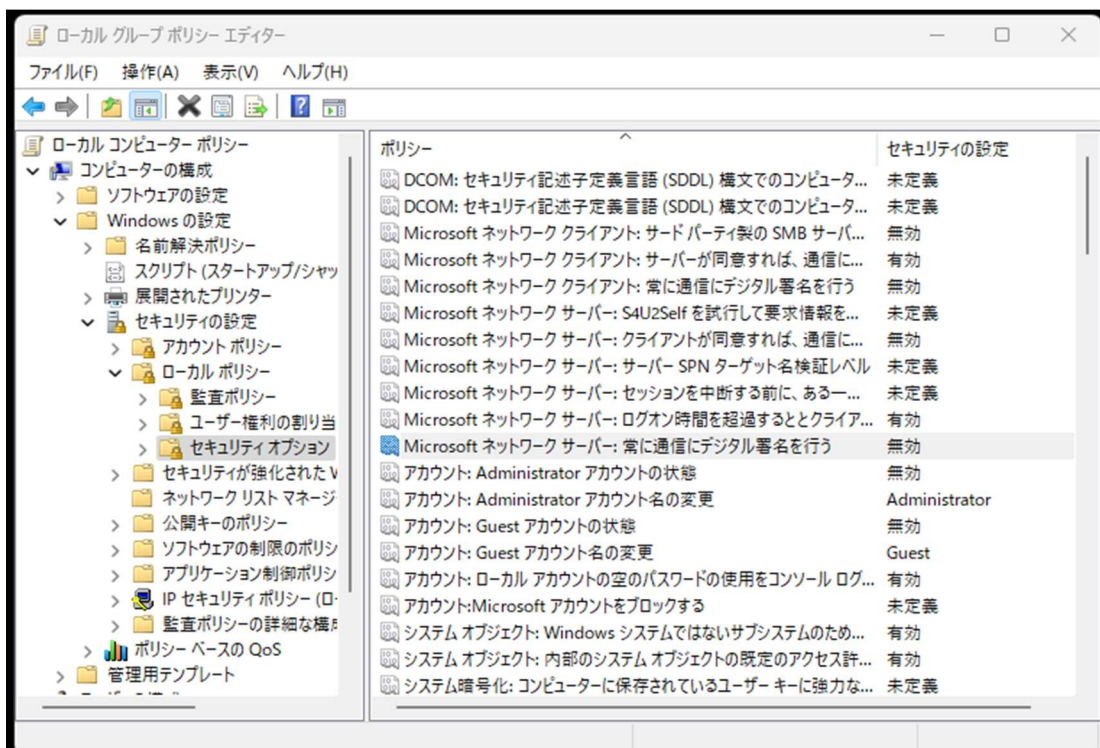
(セキュリティの設定)

(ローカルセキュリティポリシー)

(セキュリティオプション)

右側のリストから (Microsoftネットワーククライアント：常にデジタル署名を行う) を選択して、展開します。

※無効になっている場合は、変更の必要はありません。



(無効) をチェックし、(OK) を押します。

4. PCの再起動を実施し、共有フォルダにアクセスできるか確認します。

5. アクセスできない場合は、他の要因が考えられますので、弊社へご依頼下さい。